

**大学経営協会２０１９新春講演会**

**「私立大学を巡る当面の課題」ご案内**

**文部科学省中央教育審議会は、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を文部科学大臣に答申しました。これは、2018年生まれの子どもが大学を卒業する2040年に向け、高等教育が目指すべき姿を示したもので、教育研究体制の改革や、教育の質保証と情報公表、大学の連携や統合を促す制度の導入などが盛りこまれています。また、文部科学省は学校法人のガバナンス強化のため、学校法人制度の見直しの検討を進めています。ガバナンス強化の具体的方策のうち、中長期計画策定の義務化、役員の責任の明確化、監事機能の充実などを私立学校法等に盛り込む方向です。一方で、私学団体等が自らの行動規範として「私立大学版ガバナンス・コード」を定めることも求めています。**

**今回の新春講演会においては、これらの動向を踏まえ、「私立大学を巡る当面の課題」をテーマに、文部科学省私学部長の講演、（株）進研アドからの講演を頂きます。また、11月1日の講演会で、「中間まとめ」として紹介した当協会財務委員会****「資産運用における管理体制等について」の審議まとめについて報告します。**

**多くの会員、私立大学関係者のご出席をお待ちしております。**

**特定非営利活動法人大学経営協会**

 **会　長　佐藤禎一**

**理事長　宮内義彦**

**日 時 ･ 場 所**

**◆日　時:2019年1月17日（木）** **13：30～16：30**

**◆場　所:日本プレスセンタービル10階ホール(同封地図参照)**

**プログラム**

**◆　講演等**

**①講演「私立大学を巡る当面の課題」　（13:35～14：45）**

**○　文部科学省高等教育局私学部長　　白間竜一郎　氏**

**②講演　「高大接続改革の現場から」　　（15：15～16：15）**

**～ 「持続可能な社会」を支える人材育成　これからの高等教育に期待される役割 ～　」**

 **○ （株）進研アド（大学経営協会会員）　営業本部　改革支援室長　高坂栄一　氏**

**③報告「資産運用における管理体制等について」（審議のまとめ）（16：15～16:25）**

**情報交換会（名刺交換等）**

**◆14：45～15：15**

**参 加　費**

**◆会員　無料　　非会員　１人当たり　5,000円**